



年金者 しんぶん

第423号 2025年3月15日(土)

(通巻第622号)

全日本年金者組合中央本部

〒170-0005東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル
発行人 杉澤 隆宜 月刊1部100円(組合費を含む)
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

2025.1 組合員数98,690人

連絡先

☎03(5978)2751

FAX03(5978)2777

honbu@nenkinsha-u.org

ホームページ/年金者組合で検索

年金支給日宣伝 に大反響 2.14



JR大塚駅前(中央本部)



雪の北海道岩見沢支部

物価高を上回る年金!年金積立金の運用益(配当金、利息)の活用で可能

年金だけで暮らしたい

2月14日は今年初めての年金支給日宣伝の日。上の写真は、しんしんと雪降る中、マイクを握る北海道岩見沢支部の女性。広島ではバレンタインデーのこの日、ティッシュにチョコを挟んで配ると瞬く間になくなりま

中央本部は定点のJR大塚駅前。年金改善を求め切れません。

食料品の消費税をゼロに下げた法人税もどせ

中央本部は定点のJR大塚駅前。年金改善を求め切れません。

めるシール張りに列が途切れません。マイクでは「物価高騰を上回る年金額は290兆円もの年金積立金の運用益(年4兆円、利息。配当金など)を少し活用するだけで充分実現できる」と署名、組合加入を呼びかけました。

キャベツ3倍、お米は過去最高の1.7倍など食料品の値上がりは、消費税の負担増となり暮らしを直撃しています。年金者組合は、「食料品にかかる8%の消費税をゼロにせよ」「税率を下げて600兆円も内部留保をため込んでいる大企業の法人税率を元に戻せ」と国に強く要請し続けています。



沖縄県本部と浦添・西原支部



雪を踏み固め



青森

青森・東青支部は8人で取り組み、つかの間の晴れ間を縫って30分程、歩道にあるわずかな隙間を踏み固めてスタンプを踏み固めてスタンプを踏み固めてスタンプを見て手を振ってくれる人もいました。

補聴器プロジェクト

チームが発足(3面)

風雪

夫が逝ってからの1カ月がたつ。あれこれの処理に時間と労力が果てしなくかかる。日に幾度も襲ってくる寂しさをかかえながら、夫の名義をわたしの名義に書きかえることに費用はわたしの負担になってくる。夫婦ふたりなら年金でもやっていたら、がひとりになるときつというところが現実になつてきた。家・車・電気・ガス・水道・電話代、洗濯・炊事・風呂・ゴミ出しなどなど。ジェンダー平等といいながら、家事を夫に押し付け、頼っていたことがわかる。ひとり身の方も多いが、いままさながら尊敬する。何もかも物の値段がはね上がっている。一つ一つがわが身にはね返ってくる。これでひとりの生活者として、年金だけで暮らしていくこの大変さをかみしめながら、夫の病床で、このまま家に帰ってきたらどう介護生活をするのかという不謹慎な思いが心をよぎったのを思い出す。夫は今花に埋もれてます。N